年間授業計画　新様式例

高等学校 令和７年度（４学年用） 教科　　国語　　科目 論理国語

教　科：　国語　　科　目：　論理国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　４学年　Ａ 組～　Ｃ 組

教科担当者：（Ａ組：　保倉　）（C組：　保倉　）

使用教科書：（ 大修館書店『論理国語』　　）

教科　　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　　論理国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。	文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。	身につけた知識や思考力をを用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	学	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	A 単元　日本語の多様性 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 「方言コスプレ」現象 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○	○	1
	B単元　自己と他者 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○	○	1

2学期	C単元　自己と他者 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 人はなぜ贈与するのか ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○	○	1
	D単元　コミュニケーションの手段 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 ネットワーク上のコミュニケーション ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	17
	定期考査						○	○	○	1
3学期	E単元　政治と社会 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 多数決を疑う ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	17
	定期考査						○	○	○	1
									計	78

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（4学年用）教科　　公民　　科目 政治・経済

教　科：　公民　　科　目：　政治・経済　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年　Ａ 組

教科担当者：（Ａ組：神田）

使用教科書：（ 実教出版　最新政治・経済　　）

教科　公民　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　選択・判断の手がかりとなる概念や理論及び、倫理、政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　現代の諸課題について、事実をもとに概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度と自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

科目　政治・経済　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、時刻を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時数
1学期	A 単元 「現代の経済社会」 【知識及び技能】 ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国民主権を担う公民として、現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとする。	・指導事項 ①経済活動の意義 ②経済社会の変容 ③経済主体と市場の働き ・教材 教科書、一人１台端末	【知識・技能】 ・生産・分配・消費、希少性、トレードオフ、機会費用など、経済の根本的な概念について理解している。 ・資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解している。 ・需要と供給により価格と生産量が変化することを理解している。 ・希少な資源の効率的配分をもたらす市場機構や、寡占や独占、外部不経済、情報の非対称性など市場機能の限界について理解している。 ・情報の非対称性によって生じる問題の具体例について、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができている。 【思考・判断・表現】 ・資源の効率的な配分について、効率性と公平性の観点から多面的に考察している。 ・資本主義経済の成立以降、経済社会がどのように展開していったか、政府の役割の変化と関連させて考察している。 ・市場経済における生産要素の効率的な配分や、政府の適切な施策について多面的・多角的に考察・構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・情報の非対称性によって生じる問題とその対応策について、２つの視点（情報をもつ側ともたない側）を踏まえながら協働的に考察・構想し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、経済的な効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。 ・資本主義経済と社会主義経済の特徴について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・市場メカニズムの働きや市場の限界について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	A 単元 「現代の経済社会」 【知識及び技能】 ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国民主権を担う公民として、現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとする。	・指導事項 ④企業の役割 ⑤国民所得 ⑥経済成長と国民の福祉 ・教材 教科書、一人１台端末	【知識・技能】 ・有限責任と無限責任の考え方について理解している。 ・株式会社の仕組みについて、p.64の図2を利用しながら、株主と経営者との関係を理解している。 ・株式売買に関する考え方を理解している。 ・自身が興味関心をもっている会社情報を信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができている。 ・NIの生産・分配・支出のそれぞれの内容とともに、3つが理論的に同額になることを理解している。 ・現在においては、GDPなどの経済指標では計りきれない福祉的側面からの指標や環境的側面からの指標、社会的側面からの指標などがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・企業が従業員をはじめ、消費者や地域社会などに対してどのような責任を果たすべきか、協働的に考察・構想し、適切に表現している。 ・景気変動による私たちの生活と企業の成長への影響や、政府による景気安定化政策について多面的・多角的に考察し・構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・経済成長による経済的な豊かさと幸福について、数値化することが困難な経済活動や生活の諸行動をどのように評価するべきかという観点から、主体的に考えを導きだそうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・企業の社会的責任や法令順守の姿勢について主体的に追究して、企業の不祥事が相次いでいる現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・社会の課題を解決する会社をどのように起業していくか、主体的に考察しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1

2学期	A 単元 「現代の経済社会」 【知識及び技能】 ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国民主権を担う公民として、現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとする。	・指導事項 ⑦金融の役割 ⑧日本銀行の役割 ⑨財政の役割と租税 ⑩日本の財政の課題 ・教材 教科書、一人１台端末	【知識・技能】 ・金融は、信用創造等により、家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ、生産性を高め、社会を豊かに発展させる役割を担っていることを理解している。 ・中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解している。 ・財政に求められる機能について理解している。 ・累進課税制度について、計算方法も踏まえながら理解している。 ・日本の財政の現状と課題について内容理解や複数資料の読み取りを通じて理解している。 ・主要な直接税と間接税について、各税を増税した場合のメリットとデメリットを信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができている。 【思考・判断・表現】 ・景気のそれぞれの局面に対処するため、日本銀行がどのような政策をとっているか、企業との関係も含めて多面的・多角的に考察、構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・一般会計の歳入・歳出について、一部項目が大きく増加した背景を考察し、適切に表現している。 ・プライマリーバランスの改善や債務残高の減少に資する方策について、多面的・多角的に考察し、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・金融技術の革新について主体的に追究して、それらをよりよい社会の実現を視野にしながら生かそうとしている。 ・金融商品についての関心を高めており、リスクとリターンの関係などをよく理解したうえで、無理のない資金運用を心がけようとするなど、学習したことを社会生活に生かそうとしている。 ・公平な税負担について、主体的に考えを導きだそうとしている。 ・日本の財政の現状と課題を理解したうえで、財政再建について興味関心をもち、歳出減と歳入増の両面から再建のための方策を積極的に追究しながら、「財政健全化のあり方」を探究するための意欲を高めている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
	B 単元 「現代の日本経済と福祉の向上」 【知識及び技能】 ・現代日本の政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国民主権を担う公民として、現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとする。	・指導事項 ①日本経済の成長と課題 ②中小企業と農業 ③消費者問題 ④公害防止と環境保全 ・教材 教科書、一人１台端末	【知識・技能】 ・戦後復興、高度経済成長、バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解している。 ・中小企業が日本経済の発展に寄与してきた役割について理解している。 ・食料安全保障の観点から、日本の食料自給率と貿易の関係について理解している。 ・契約の効力が発生する要件や、消費者契約法に定められている契約取り消しの意義などについて理解している。 ・政府による公害対策や環境保全のための法整備について理解している。 【思考・判断・表現】 ・人口減少社会が直面する経済的課題について協働的に考察したうえで、そのための経済政策を選択・判断し、表現している。 ・今後の日本経済のあり方について、収集した諸情報にもとづいたうえで、「効率性」と「公平性」といった観点も踏まえながら多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本経済の基盤ともいえる中小企業が、自立的に成長していける環境を作り出すためにどのような政策が必要か、協働的に考察し、その結果を適切に表現している。 ・環境保全と経済活動の両立について協働的に考察したうえで選択・判断し、それらを適切に表現している。 ・循環型社会の実現における課題を見出し、法制度と消費者の観点から協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食料安全保障について主体的に追究し、自給率向上などの日本農政の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・消費者の自立と自己責任について関心を深め、消費者の権利と責任に関する課題を意欲的に解決しようとしている。 ・日本の公害問題と環境政策に関する理解のもとで、今後の環境問題の解決方法について主体的に追究して、課題を意欲的に解決しようとしている。 ・よりよい社会の実現を視野に、循環型社会の実現に向けた諸施策など学習したことを、社会生活に生かそうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
3学期	B 単元 「現代の日本経済と福祉の向上」 【知識及び技能】 ・現代日本の政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国民主権を担う公民として、現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	・指導事項 ⑤労働問題と労働者の権利 ⑥こんにちの労働問題 ⑦社会保障の役割と課題 ・教材 教科書、一人１台端末	【知識・技能】 ・労働基本権と労働三法の内容について理解している。 ・職場における不当な差別的扱いがあってはならず、そのための法整備と対策が急がれることを理解している。 ・社会保障は高齢者だけのものではなく、社会に参加するすべての世代について検討されるべきものであることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・なぜ労働法規によって労働者の権利保護が図られているのか協働的に考察し、それらを適切に表現している。 ・どうすれば職場における不当な差別的取り扱いが解消できるのか、多面的に考察している。 ・社会保障のあり方について、税金中心のしくみと社会保険中心のしくみでどのような違いがあるか協働的に考察し、それらを適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、ワーキングプアの解消やワーク・ライフ・バランスの実現を目指して、学習した内容を社会生活に生かそうとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
						合計	78

年間授業計画　新様式

高等学校 令和7年度（4学年用） 教科　地理歴史　　科目 地歴考究

教　科：　地理歴史　　科　目：　地歴考究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年　A　組　　C　組

教科担当者：志賀尚司

使用教科書：（ 歴史総合　近代から現代へ　山川出版社　・　高校生の地理総合　帝国書院　）

教科　地理歴史

【 知　識　及　び　技　能 】世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、総合的にとらえて基礎的知見を得る。

【思考力、判断力、表現力等】上記で獲得した基礎的知見を、世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、多面的・多角的に考察する。

【学びに向かう力、人間性等】上記をふまえて、現代に通暁する諸課題を認識し、自身の問題として自覚化する。

科目　地歴考究の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、総合的にとらえて基礎的知見を得る。	左記で獲得した基礎的知見を、世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、多面的・多角的に考察する。	左記をふまえて、現代に通暁する諸課題を認識し、自身の問題として自覚化する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時数
1学期	A単元「日本近代国家の地政学」 【知識及び技能】 日本の地理的位置と開国・対外進出等について歴史的展開の基礎的知識を把持していく。 【思考力・判断力・表現力等】 日本の地勢と地政学から、近代日本の東アジアにおける「立ち位置」について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 上記で得られた課題を自覚化する。	・指導事項 近代日本の形成	【知識・技能】 なぜ幕末に日本の開国は焦点化するのか、そしてその後の近代化過程について基礎的な知識を獲得し得たか。 【思考・判断・表現】 日本の開国・近代化過程を立体的に考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 上記で得られた課題を自覚化し得たか。	○	○	○	8
	A単元「日本近代国家と人物」 【知識及び技能】 日本近代国家形成における人物の動向について基礎的知識を把握していく。 【思考力・判断力・表現力等】 日本近代国家形成における歴史上の人物の選択と決断について多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 上記で得られた課題を自覚化する。	・指導事項 近代日本の形成と人物	【知識及び技能】 日本近代国家形成における人物の動向について基礎的知識を把握し得たか。 【思考力・判断力・表現力等】 日本近代国家形成における歴史上の人物の選択と決断について多角的・多面的に考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 上記で得られた課題を自覚化し得たか。	○	○	○	6
	到達度テスト			○	○	○	1
	B単元「日本現代史の展開」 【知識及び技能】 日本現代史の展開を日本の地理的位置や国際環境をふまえて把握していく。 【思考力・判断力・表現力等】 日本現代史の展開を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の課題を自覚化する。	・指導事項 日本現代史の展開	【知識・技能】 日本現代史の展開を日本の地理的位置や国際環境をふまえて把握し得たか。 【思考・判断・表現】 日本現代史の展開を多角的・多面的に考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の課題を自覚化し得たか。	○	○	○	7
	B単元「日本現代史と人物」 【知識及び技能】 日本現代史の展開上の人物の判断・選択・決断の状況を把持していく。 【思考力・判断力・表現力等】 日本現代史の展開上の人物の判断・選択・決断の状況を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の課題を自覚化する。	・指導事項 「日本現代史の人物」	【知識・技能】 日本現代史の展開上の人物の判断・選択・決断の状況を把握し得たか。 【思考・判断・表現】 日本現代史の展開上の状況を多角的・立体的に考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の課題を自覚化し得たか。	○	○	○	5
2学期	C単元「日本前近代史の展開」 【知識及び技能】 日本古代・中世史の展開を、地勢・地政学をふまえて把握していく。 【思考力・判断力・表現力等】 日本古代・中世史の展開を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の課題を自覚化する。	・指導事項 「日本前近代史の展開」	【知識・技能】 日本古代・中世史の展開を、地勢・地政学をふまえてを把持し得たか。 【思考・判断・表現】 日本古代・中世史の展開を多角的・立体的に考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の課題を自覚化し得たか。	○	○	○	9
	C単元「日本前近代史と人物」 【知識及び技能】 日本古代・中世史上の人物の判断・選択・決断を把持していく。 【思考力・判断力・表現力等】 日本古代・中世史上の人物の判断・選択・決断を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の課題を自覚化する。	・指導事項 日本前近代史と人物	【知識・技能】 日本古代・中世史上の人物の判断・選択・決断を把握し得たか。 【思考・判断・表現】 日本古代・中世史上の人物の判断・選択・決断を多角的・立体的に考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の課題を自覚化し得たか。	○	○	○	7
	到達度テスト			○	○	○	1

	D単元「日本前近代史の展開」 【知識及び技能】 日本近世史の展開を地勢・地政学をふまえて把持していく。 【思考力・判断力・表現力等】 日本近世史の展開を地勢・地政学をふまえて多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の課題を自覚化する。	・指導事項 日本近世史の展開	【知識・技能】 日本近世史の展開を地勢・地政学をふまえて把持し得たか。 【思考・判断・表現】 日本近世史の展開を地勢・地政学をふまえて多角的・立体的に考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の課題を自覚化し得たか。	○	○	○	9
	D単元「日本近世史と人物」 【知識及び技能】 日本近世史上の人物の判断・選択・決断を把持していく。 【思考力・判断力・表現力等】 日本近世史上の人物の判断・選択・決断を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の課題を自覚化する。	・指導事項 日本近世史の人物	【知識・技能】 日本近世史上の人物の判断・選択・決断を把握し得たか。 【思考・判断・表現】 日本近世史上の人物の判断・選択・決断を多角的・立体的に考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の課題を自覚化し得たか。	○	○	○	7
3学期	E単元「世界史上の人物」 【知識及び技能】 世界史上の人物の判断・選択・決断を把持していく。 【思考力・判断力・表現力等】 世界史上の人物の判断・選択・決断を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の課題を自覚化する。	指導事項 世界史上の人物	【知識・技能】 世界史上の人物の判断・選択・決断を把持し得たか。 【思考・判断・表現】 世界史上の人物の判断・選択・決断を多角的・立体的に考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の課題を自覚化し得たか。	○	○	○	18
							合計
							78

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（4学年用）教科　　公民　　科目　公民考究

教　科：　公民　　科　目：　公民考究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年　Ａ 組

教科担当者：（Ａ組：神田）

使用教科書：（ 実教出版　最新政治・経済　　）

教科　公民　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　選択・判断の手がかりとなる概念や理論及び、倫理、政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　現代の諸課題について、事実をもとに概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度と自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

科目　公民考究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、時刻を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時数
1学期	A 単元 「現代国家と民主政治」 【知識及び技能】 ・基本的人権の歴史的発展や法の支配について理解する。 ・民主政治のしくみと課題を理解したうえで、権力分立と立憲主義の重要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・政治、国家、法のあり方について考える。 ・基本的人権の保障はどのように拡大していったのか考える。 ・世界の国々が採用している議院内閣制と大統領制には、民主政治の諸原理がどのように反映されているのか考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国民主権や議会制民主主義をニュースで起こっていることと結び付けようとする。	・指導事項 ①民主政治と法 ②民主政治の基本原理 ③民主政治のしくみと課題 ④世界のおもな政治制度 ・教材 教科書、一人１台端末	【知識・技能】 ・法の意義と役割のほか、法の分類についても理解している。 ・基本的人権の歴史的発展について理解している。 ・議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度の特徴について、民主政治の諸原理にも着目しながら理解している。 【思考・判断・表現】 ・政治とはどのような営みか、自身の身近な事例にも言及しながら考察し、適切に表現している。 ・基本的人権や法の支配の重要性について、歴史的背景にも言及しながら考察し、それらを適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国民主権を担う公民としての自覚をもとに、民主政治のあり方や法の意義などについて主体的に理解・追究しようとしている。 ・国民主権を担う公民としての自覚をもとに、現実の政治制度に関する課題について主体的に理解・追究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	B 単元 「日本国憲法と基本的人権」 【知識及び技能】 ・日本国憲法の成立過程を踏まえつつ、明治憲法との違いを理解する。 ・自由権の内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本国憲法の基本原理を理解したうえで、憲法の改正手続きについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本国憲法が保障する基本的人権のうち、精神の自由について身近な例と結び付けて考える。 ・現代社会にはどのような差別があり、どのような対処がなされているのかニュースなどから見つける。	・指導事項 ①日本国憲法の成立 ②日本国憲法の基本原理 ③自由に生きる権利(１) ④自由に生きる権利(２) ⑤平等に生きる権利 ・教材 教科書、一人１台端末	【知識・技能】 ・日本国憲法の成立過程を理解している。 ・諸外国の憲法に関連する諸情報を信頼性の高い情報源から収集し、知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 ・自由権・平等権と関連する判例（教科書掲載外の判例）を信頼性の高い情報源から収集し、それぞれ適切に分類・整理したうえで、知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 【思考・判断・表現】 ・自由権、平等権について、各種判例や自身の身近な事例などと結びつけながら協働的に考察し、適切に表現している。 ・差別を解消すべき理由について、『公共』で学んだ「人間の尊厳」や「個人の尊重」といった視点に立ちながら、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・憲法の最高法規性や日本国憲法の原理、改正手続きなどについて主体的に理解・追究しようとしている。 ・日本国憲法の三大基本原理が私たちの人権や政治に果たしている役割について関心を高め、主体的に追及しようとしている。 ・基本的人権が保障されていることの意義を知り、関心が高まっている。また、たとえば平等権と社会的な差別の諸課題について多面的かつ主体的に考察し、よりよい社会の実現を視野に、学習したことを社会の改善に生かそうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1

2学期	B 単元 「日本国憲法と基本的人権」 【知識及び技能】 ・社会権の内容について理解する。 ・新しい人権について理解する。 ・公共の福祉について理解する。 ・日本の安全保障政策の展開について理解する。 ・こんにちの安全保障政策の課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会権にはどのような権利があり、どのように保障されているか判例をもとに考える。 ・参政権、請求権にはどのような権利があるか判例をもとに考える。 ・平和憲法のもと、どのようにして自衛隊は創設され、活動範囲をひろげてきたのか、その背景を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人権と人権が衝突した場合、どのように調整すべきか、身近な事例を基に考えを深める。 ・徹底した平和主義をかかげる日本が、今後世界で求められることは何かグループワークを通じて意見交換をする。	・指導事項 ⑥社会権と参政権・請求権 ⑦新しい人権 ⑧人権の広がりと公共の福祉 ⑨平和主義と自衛隊 ⑩日米安全保障体制の変化 ⑪21世紀の平和主義 ・教材 教科書、一人１台端末	【知識・技能】 ・冤罪や死刑制度、さまざまな差別、生存権の保障など、人権に関する現実社会の課題について理解している。 ・社会権と関連する判例（教科書掲載外の判例）を信頼性の高い情報源から収集し、それぞれ適切に分類・整理したうえで知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 ・環境権・知る権利・プライバシーの権利などの新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解している。 ・社会的権力による人権侵害の課題や人権の国際化の動き、公共の福祉について理解している。 ・公共の福祉の具体的な事例を信頼性の高い情報源から収集し、知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 ・日本国憲法の平和主義の内容と日米安保体制がうまれた背景について理解している。 ・1990年代以降の安全保障体制の変容とこんにちの課題について理解している。 ・日本の安全保障をめぐる現状と課題、自衛隊の海外活動の現状といった諸情報を信頼性の高い情報源から収集し、知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 【思考・判断・表現】 ・社会権について、各種判例や自身の身近な事例などと結びつけながら協働的に考察し、適切に表現している。 ・差別を解消すべき理由について、『公共』で学んだ「人間の尊厳」や「個人の尊重」といった視点に立ちながら、適切に表現している。 ・社会権の保障（すべての人が人間らしい生活を送れるようにするために国がすべきことは何か、など）について、協働的に考察し、適切に表現している。 ・知る権利の内容理解を踏まえたうえで、「忘れられる権利の是非」について多面的に考察し、適切に表現している。 ・現実社会の問題の解決と個人の権利との調整について、生徒みずからが調べて収集した具体的な事例にもとづきながら協働的に考察し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・基本的人権が保障されていることの意義を知り、関心が高まっている。また、たとえば平等権と社会的な差別の諸課題について多面的かつ主体的に考察し、よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会の改善に生かそうとしている。 ・新しい人権について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・公共の福祉について主体的に追究することを通して、個人と個人の権利の衝突を調整の方法を社会生活に生かそうとしている。 ・集団的自衛権について関心が高まっており、集団的自衛権が他国との関係でどのような影響を及ぼしうるかについて主体的に検討しようとしている。 ・我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
	C 単元 「日本の政治制度と政治参加」 【知識及び技能】 ・国会の役割や権限について理解する。 ・内閣の権限と議院内閣制について理解する。 ・司法制度のあり方や司法参加の意義について理解する。 ・地方自治の本旨や住民の権利について理解する。 ・地方がかかえる課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・行政の民主化に必要なことは何かを考える。 ・司法権の独立はなぜ重要か考える。 ・日本の地方自治はどのような財政上の課題があるか考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国会の地位・役割・構成・権限について、新聞やニュースで伝えられていることと関連付けられるようにする。 ・司法制度改革にはどのようなものがあるか、新聞やニュースなどから情報を集める。	・指導事項 ①政治機構と国会 ②内閣と行政機関の拡大 ③公正な裁判の保証 ④地方自治と住民福祉 ・教材 教科書、一人１台端末	【知識・技能】 ・国会の役割や権限、運営について理解している。 ・内閣の権限や議院内閣制のしくみについて理解している。 ・行政改革の現状、日本各地のオンブズマンの活動状況といった諸情報を信頼性の高い情報源から収集し、知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 ・司法権の独立や裁判のしくみ、各裁判所の役割について理解している。 ・違憲審査権について理解している。 ・裁判員制度や検察審査会の意義と役割について理解している。 ・司法制度改革の現状と課題について、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができている。 ・地方自治の本旨である、団体自治と住民自治について理解している。 ・地方自治の政治・経済的な課題について理解している。 ・住民自治に基づく住民の権利や住民投票など、住民の意思を反映させる手段について理解している。 ・身近な地域の人口動向や防災面での課題について、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができている。 【思考・判断・表現】 ・裁判員制度の意義と課題について協働的に考察し、適切に表現している。 ・違憲審査権の行使について、２つの観点（消極的観点：裁判所は直接国民を代表する機関ではないので、代表者からなる国会の定めた法律の違憲審査には消極的であるべきである／積極的観点：多数決による政治で無視されがちな少数者の権利を救済できるのは裁判所以外にないのだから、違憲の法律による権利侵害に対しては積極的に違憲審査すべきである）を踏まえながら考え、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の政治機構について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・行政権の拡大について関心を深めており、官僚政治と官邸主導のそれぞれの長所と短所について主体的に追求しようとしている。 ・司法制度のあり方や司法参加の意義について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・地方がかかえる課題の概要を理解したうえで、身近な地域の人口動向や防災面での課題、東京圏への一極集中といった主題に興味関心をもち、人口動向が地域に与える影響や一極集中にともなう課題の解決策などを積極的に追究しながら、「持続可能な地域社会のあり方」や「地域における防災」を探究するための意欲を高めている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1

3学期	C 単元 「日本の政治制度と政治参加」 【知識及び技能】 ・日本の政党政治の特徴と課題について理解する。 ・日本の選挙制度の特徴と課題について理解する。 ・マス・メディアや市民運動の意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・戦後日本の政党政治はどう変遷してきたのか、政党政治にはどのような課題があるか考える。 ・日本の選挙制度の課題にはどのようなものがあるか考える。 ・メディアの責任とは何か、自分の意見をまとめ、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・政党政治にはどのような課題があるか、新聞やニュースなどから情報を収集する。 ・投票率が上昇するためにはどうしたらよいか自分ごととして考える。	・指導事項 ⑤政党政治 ⑥選挙制度 ⑦世論と政治参加 ・教材 教科書、一人１台端末	【知識・技能】 ・政党政治や日本の政党政治の課題について理解している。 ・日本の選挙制度の種類とそれぞれの特徴、議員定数の不均衡などの課題について理解している。 ・選挙制度の課題、政治活動に関する規制の現状について信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができている。 ・マス・メディアや市民運動が世論形成と政治にもたらす影響について理解している。 ・政治的無関心や無党派層の増加などの課題について理解している。 ・民意を国政に反映させる多様な方法について、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができている。 【思考・判断・表現】 ・日本の政党政治の課題について、「政治資金」や「政党間の競争」といった観点に立ちながら考え、適切に表現している。 ・SNSやインターネットの普及が世論形成に与えるメリットとデメリットについて多面的に考察し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・政党の変遷について主体的に追究して、なぜ離合集散が繰り返されるのかといった観点から政党政治の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・選挙制度について関心を深めており、デジタル時代の選挙のあり方の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・政治と民意の関係について主体的に追究し、民意を政治に反映させるための課題を意欲的に解決しようとしている。 ・政治参加と公正な世論の形成について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
							合計 78

年間授業計画　様式

高等学校 令和７年度（４学年用） 教科　　数学　　科目 数学Ａ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ａ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年　A　組

教科担当者：福地

使用教科書：（ 新　高校の数学Ａ（数研出版）　　）

教科　数学　　の目標：

【知識及び技能】　数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目　数学Ａ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時数
1学期	第２章　図形の性質 第１節　平面図形 平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	１．基本の図形	【知識・技能】 ○図形の基本性質を理解し、それらを用いて角の大きさや辺の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○角の大きさや辺の長さを求めるのに、図形のどの基本性質を使えばよいかが判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○図形の基本的な性質について既に学んだ事項を思い出し、それらを活用できる場面を見いだそうとしている。	○	○	○	2
		２．角の二等分線と線分の比	【知識・技能】 ○角の二等分線と線分の比の定理を理解し、それを用いて辺や線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○角の二等分線と線分の比の定理を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○外角の二等分線についても内角の場合と同様の定理が成り立つことに興味をもつ。	○	○	○	3
		３．三角形の外心、内心、重心	【知識・技能】 ○三角形の外心・内心・重心の定義とその性質を理解し、それらを用いて角の大きさや線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○三角形の外心・内心・重心の性質を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○三角形の外心・内心・重心に関する性質に興味をもち、考察しようとする。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
		４．円周角の定理	【知識・技能】 ○弧、弦、円周角、中心角など円に関する用語を理解している。 ○円周角の定理を理解し、角の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○円周角の定理の逆を理解し、等しい角に着目して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○中学校で学んだ円周角の定理とその逆を思い出し、それらを活用しようとしている。	○	○	○	6
		５．円に内接する四角形	【知識・技能】 ○円に内接する四角形の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○円に内接する四角形の性質やその逆を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 ○四角形が円に内接する条件について、対角に着目して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○四角形が円に内接する条件に興味をもち、考察しようとする。	○	○	○	6
		６．円の接線	【知識・技能】 ○接線と弦のつくる角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 ○円の接線の長さが等しいことを理解し、辺や線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○円と直線を動的にとらえて、それらの位置関係を考察することができる。 ○接線と弦のつくる角の性質を証明する際に、場合分けをしながら考察することができる。 ○円の接線の長さが等しいことを証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○円の接線にはいろいろな性質があることを知り、それぞれの性質と活用法について興味をもつ。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1

2学期		7．方べきの定理	【知識・技能】 ○方べきの定理を理解し、線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○方べきの定理を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○相似を利用した方べきの定理の導き方に興味をもつ。	○	○	○	6
		8．2つの円	【知識・技能】 ○２つの円の位置関係には５つのパターンがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ○５つの円の位置関係を、動的な視点によって観察・分類することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○２つの円の位置関係について、中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。	○	○	○	4
		9．作図	【知識・技能】 ○条件つき確率の定義を理解し、確率を求めることができる。 ○確率の乗法定理を理解し、確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○確率の乗法定理を利用することで、くじを引くときの順番には当たる確率は関係がないことを理解し、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○条件つき確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもち、活用しようとする。 ○確率の乗法定理を活用して、「くじを引く順番と確率」といった身近な確率の問題解決に積極的に取り組もうとする。	○	○	○	4
	第２節　空間図形 空間図形の性質についての理解を深め、それらを観察したり考察したりすることで、空間認識力の育成を図る。	1．空間の直線、平面	【知識・技能】 ○図形の基本性質を理解し、それらを用いて角の大きさや辺の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○角の大きさや辺の長さを求めるのに、図形のどの基本性質を使えばよいかが判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○図形の基本的な性質について既に学んだ事項を思い出し、それらを活用できる場面を見いだそうとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○	○	1
		2．正多面体	【知識・技能】 ○角の二等分線と線分の比の定理を理解し、それを用いて辺や線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○角の二等分線と線分の比の定理を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○外角の二等分線についても内角の場合と同様の定理が成り立つことに興味をもつ。	○	○	○	2
		3．立体の切断	【知識・技能】 ○角の二等分線と線分の比の定理を理解し、それを用いて辺や線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○角の二等分線と線分の比の定理を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○外角の二等分線についても内角の場合と同様の定理が成り立つことに興味をもつ。	○	○	○	2
		4．円周角の定理	【知識・技能】 ○三角形の外心・内心・重心の定義とその性質を理解し、それらを用いて角の大きさや線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○三角形の外心・内心・重心の性質を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ○三角形の外心・内心・重心に関する性質に興味をもち、考察しようとする。	○	○	○	4

		５．円に内接する四角形	【知識・技能】 ○円に内接する四角形の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○円に内接する四角形の性質やその逆を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 ○四角形が円に内接する条件について、対角に着目して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○四角形が円に内接する条件に興味をもち、考察しようとする。	○	○	○	2
		６．円の接線	【知識・技能】 ○接線と弦のつくる角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 ○円の接線の長さが等しいことを理解し、辺や線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○円と直線を動的にとらえて、それらの位置関係を考察することができる。 ○接線と弦のつくる角の性質を証明する際に、場合分けをしながら考察することができる。 ○円の接線の長さが等しいことを証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○円の接線にはいろいろな性質があることを知り、それぞれの性質と活用法について興味をもつ。	○	○	○	2
		７．方べきの定理	【知識・技能】 ○方べきの定理を理解し、線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○方べきの定理を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○相似を利用した方べきの定理の導き方に興味をもつ。	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1
３学期		８．２つの円	【知識・技能】 ○２つの円の位置関係には５つのパターンがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ○５つの円の位置関係を、動的な視点によって観察・分類することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○２つの円の位置関係について、中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。	○	○	○	2
		９．作図	【知識・技能】 ○中学校で学んだ基本的な作図を行うことができる。 ○円の接線を、基本的な作図の組み合わせによって描くことができる。 【思考・判断・表現】 ○さまざまな図形を、基本的な作図の組合せによって描くことができることを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○コンパスと定規を使って作図に積極的に取り組もうとする。 ○作図に対して、なぜそれが正しいか考え、説明しようとする態度がある。	○	○	○	3
		１０．復習	【知識・技能】 ○中学校で学んだ基本的な作図を行うことができる。 ○円の接線を、基本的な作図の組み合わせによって描くことができる。 【思考・判断・表現】 ○さまざまな図形を、基本的な作図の組合せによって描くことができることを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○コンパスと定規を使って作図に積極的に取り組もうとする。 ○作図に対して、なぜそれが正しいか考え、説明しようとする態度がある。	○	○	○	4
	第２節　空間図形 空間図形の性質についての理解を深め、それらを観察したり考察したりすることで、空間認識力の育成を図る。	１．空間の直線、平面	【知識・技能】 ○２直線の関係、直線と平面の関係、２平面の関係には３種類ないしは２種類あることを理解し、それらの位置関係を示すことができる。 ○２直線のなす角、直線と平面の垂直条件、２平面の位置関係について理解し、角の大きさやそれらの関係性を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○直線と平面が垂直になるための条件を、本を立てたときの状態に当てはめるなど具体的な事例によって考察することができる。 ○直線や平面が平行または垂直となるかどうかを、立方体を例として考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○直線や平面の位置関係にはさまざまな状態があることに興味をもち、それらの性質を理解しようとする。	○	○	○	3

		２．正多面体	【知識・技能】 ○多面体や正多面体の定義を理解し、それらの頂点、辺、面の数を求めることができる。 ○正多面体の特徴を理解し、正多面体が５種類のみであることを知っている。 【思考・判断・表現】 ○多面体の頂点、辺、面の数に関して成り立つ性質を具体的な例によって確認し、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○多面体に関して成り立つ性質について興味をもち、その性質を確認しようとしている。	○	○	○	3
		３．立体の切断	【知識・技能】 ○立体を平面で切り取ったときの切り口の形や切り取られてできる立体について、どのような形状になるかを理解している。 【思考・判断・表現】 ○立体の切り取り方によって切り口の形が異なることや、そのときの切り口の特徴について説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○立体の切り口の形がどのようになるのかについて興味をもち、その特徴を見つけ出そうとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○	○	1
							合計 78

高等学校 令和７年度（4学年）　教科　理科　科目 物理基礎

教　科：理科　科　目：物理基礎　単位数：2　単位

対象学年組：第　4 学年　A　組

教科担当者：（ A組：上野　）

使用教科書：（ 東京書籍　物基702 『新編　物理基礎』 ）

教科　理科　の目標：

【知識及び技能】　自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　物理基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて、観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 そして導き出した自らの考えを的確に表現する力を身につける。	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて、科学的な視点・考察力を養うとともに物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時数
1学期	運動の表し方 【知識及び技能】 ・有効数字や科学表記を用いた計算処理ができる。 ・運動している物体のようすを表すのに必要な物理量のうち，時刻や位置を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・記録タイマーとテープを使って，自分自身の運動について調べ，レポートを作成したり他の人の運動と比べたりする。・変位と時刻の関係や，速度と時刻の関係をグラフに表す方法（x-tグラフ，v-tグラフ）を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・等速直線運動のx-tグラフやv-tグラフの特徴について理解する。 ・水平面上を進む物体と斜面を下る物体の運動のようすの違いについて比較し，斜面を下るときには速度が変化することを理解する。	【指導事項】 A 有効数字と不確かさ ・測定値を使った計算 ・科学表記 B 運動の表し方 ・速さ ・変位と速度 ・等速直線運動 C 合成速度と相対速度 D 速度が変わる運動 〈実験１〉斜面上を運動する物体 ・斜面を下る力学台車 ・自由落下運動 ・投げ下ろした物体の運動 ・投げ上げた物体の運動 ・水平投射運動 ・斜方投射運動 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・一人１台端末	【知技】 ・運動している物体のようすを表す物理量のうち，時刻や変位，速さについて理解している。［行動観察・記述分析］ 【思考・判断・表現】 ・ストロボ写真から，その運動の特徴を考察し，グラフを用いて正確に表現している。［発言分析・記述分析］ ・等速直線運動のv-tグラフ，x-tグラフの特徴を理解している。［発言分析・記述分析］ 【学びに向かう力、人間性等】 ・既習事項を踏まえ，斜面を下る物体の速度の変化を調べるための方法や分析のしかたを自分なりに考え，その考えに基づいて実験を実施している。［発言分析・行動観察］ ・等加速度直線運動のグラフから，式の導き方を理解し，表現している。［行動観察・記述分析］	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	さまざまな力 【知識及び技能】 灯り、通信、交通、コンピュータ、農業、食品、医療、防災、エネルギーの歴史について時系列的に理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 科学技術が時代とともに進歩し、人間生活を豊かで便利にしてきたことや人間生活に不可欠であることを理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 科学技術の発展の歴史について関心を持ち、自ら調べ学ぶ態度を養う。	【指導事項】 A　力とつり合い ・　力の合成と分解 ・　垂直抗力と弾性力 B　ニュートンの運動の3法則 ・慣性の法則 ・「運動の変化」と「力」 〈実験１〉力と加速度の関係 〈実験２〉質量と加速度の関係 ・運動方程式の活用 ・作用・反作用の法則 C　さまざまな力 ・動摩擦力とその性質 ・静止摩擦力とその性質 ・動きだすのを妨げる力 ・空気の抵抗力 ・水圧と浮力 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・一人１台端末	【知識・技能】 灯り、通信、交通、コンピュータ、農業、食品、医療、防災、エネルギーの歴史について時系列的に理解できている。 【思考・判断・表現】 科学技術が時代とともに進歩し、人間生活を豊かで便利にしてきたことや人間生活に不可欠であることを理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 科学技術の発展の歴史について、意欲的に理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1

2学期	力学的エネルギー保存の法則 【知識及び技能】 ・力のする仕事が正、負、０になる場合のそれぞれについて説明することができる。 ・物理における仕事、仕事率を計算することができる。動滑車や斜面などを用いた場合の仕事について考えることができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・運動エネルギーの大きさを計算し、物体がされた仕事との関係についても式を用いて計算できる。 ・落下運動などについて、位置エネルギーを計算することができる。 ・ばねの弾性力について、位置エネルギーを計算することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物体の運動について、力学的エネルギー保存の法則を適用することができる。 ・力学的エネルギーが保存されない場合の運動も考えることができる。	A　仕事と力学的エネルギー ・力がする仕事 ・仕事の原理と仕事率 B　運動エネルギー ・重力による位置エネルギー ・弾性力による位置エネルギー ・力学的エネルギー	【知識・技能】 ・重力のみが仕事をする運動について，物体の運動エネルギー，位置エネルギーを考え，力学的エネルギーについて理解する。 ・実際の実験データから重力のした仕事と位置エネルギーの変化量を比較する。 ・運動方向と垂直な力と仕事の関係について理解する。 ・弾性力のみが仕事をする運動でも力学的エネルギーが保存されることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・力学的エネルギーは相互に変換されることを実験を通して考えている。 ・仕事による運動エネルギーの変化について、実験を通して考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物体の運動について、力学的エネルギー保存の法則を適用することができる。 ・力学的エネルギーが保存されない場合の運動も考えることができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	熱の性質とその利用 【知識及び技能】 ・温度は何を表すものなのか理解できている。 ・熱容量と比熱について理解できている。 ・電力量と電力の定義について学習させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物体をつくる粒子が熱運動をしていることを、実験を通して理解できている。・熱伝導、対流、熱放射では、それぞれどのように熱が伝わるのか理解できている。 ・物質の三態、融解熱・蒸発熱について、物質をつくる粒子に着目して理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・エネルギーに関心を持ち、さまざまな種類に分類し考えさせる。 ・可逆変化と不可逆変化は、それぞれどのような変化なのか考えさせる。 ・どのような方法で電力を生み出しているか考えさせる。	【指導事項】 A　温度と熱運動 ・熱容量・比熱 ・熱の伝わり方 B　仕事や電流と熱の発生エネルギー ・エネルギーの移り変わり ・熱エネルギーの利用 ・エネルギー資源の利用 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・一人１台端末	【知識・技能】 ・セルシウス温度と絶対温度について理解できている。 ・熱平衡とはどのような状態か理解できている。 ・熱量の保存について実験を通して、理解できている。 【思考・判断・表現】 ・エネルギーは相互に変換されることを実験を通して考えている。 ・仕事による熱の発生について、実験を通して考えている。 ・ジュールの実験にも触れ、仕事と熱量が比例関係にあることを説明できる。 ・電流の仕事により熱が発生することと、その発熱量はジュールの法則に従うことを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・熱機関について、実験を通して主体的に学び、得た熱量のすべてを仕事に変えることはできないことを説明しようとしている。。 ・複合サイクル方式やコージェネレーションシステムなど、エネルギーを効率的に利用する技術があることを深く調べ、まとめようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
3学期	波の性質 【知識及び技能】 ・水面に浮かぶ木の葉などの例をもとに、波と媒質について理解する。 ひもを伝わる波の観察などを通して、波の伝わり方を理解する。 ・波の基本的な要素を学習し、波の速さ、波長、周期(振動数)の間に成り立つ関係を式で表せる。 単振動の特徴を学習し、振動数と周期の関係を理解する。 【思考・判断・表現】 ・横波と縦波の伝わり方を理解する。 縦波における疎、密の点、変位や速度の最大、最小の点を示すことができる。 横波、縦波の違いを理解し、縦波を横波のように表示できる。 ・振動によって生じる波形を作図することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・定常波の特徴を踏まえ、進行波の波長や腹、節の位置などを求めることができる。 ・反射の仕方を理解し、反射波の作図をすることができる。自由端、固定端のそれぞれによる反射の仕方の違いを説明することができる。	【指導事項】 A　波の性質 ・波と振動 ・波の表し方 ・横波と縦波 B　波の重ねあわせ ・定常波 ・波の反射 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・一人１台端末	【知識・技能】 ・波形をy－xグラフで表すことができ，ｙ－ｔグラフとの関係を理解し，y-xグラフとy-tグラフを書き分けることができる。また，波の速さ，周期，振動数，波長の関係を理解している。［記録分析・記述分析］ ・波の独立性と波の重ね合わせの原理について理解している。［発言分析・記述分析］ 【思考・判断・表現】 ・波が重なって定在波ができるようすを，作図を通して表現している。［記述分析・行動観察］ 【学びに向かう力、人間性等】 ・人がつくるウェーブや，リボンを付けたつる巻ばねがつくる波について，異なる点や気付いたことを考えたり表現しようとしたりしている。［発言分析・記述分析］	○	○	○	8
	電荷と電流 【知識及び技能】 ・物体が帯電するしくみを説明することができる。物体の帯電した電気量から、移動した電子の数を計算できる。 ・移動する電荷の大きさから、電流の大きさを計算できる。 オームの法則を用いて、電流、電圧、抵抗のそれぞれの量を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・物質の抵抗と太さや長さとの関係を理解し、式で表すことができる。 電流と電圧の関係を表すグラフから、抵抗を読み取ることができる。 ・抵抗が直列・並列に接続された回路において、合成抵抗や電流、電圧を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・電気抵抗を，抵抗率，導線の長さ，断面積で表す方法について主体的に考えようとしている。 ・ジュール熱、電力量や電力を計算しようとしている。	【指導事項】 A　電荷と電流 ・電荷 ・電流と電気抵抗 B　物質と抵抗率 ・抵抗の接続 ・電力量と電力 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・一人１台端末	【知識・技能】 ・静電気や原子構造，電流の大きさの表し方や向きについて理解している。［発言分析・記述分析］ 【思考・判断・表現】 ・抵抗の形状と抵抗値の大きさにどのような関係があるか仮説を立て，それを調べるために実験を行い，得られた実験結果を科学的に分析，考察し，表現している。［行動観察・記録分析］ 【学びに向かう力、人間性等】 ・同じ物質からなる物体の長さや断面積と抵抗値の大きさにどのような関係があるか調べるために実験を行い，得られた実験結果を科学的に分析，考察し，他人の実験結果や考察と比較しながら議論して深く考えようとしている。［発言分析・行動観察］	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
						合計	78

高等学校 令和７年度（４学年） 教科　理科　科目 教養科学

教　科：　理科　　科　目：　教養科学　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年　A　組～　　C　組

教科担当者：（ A組：上野　 ）　（ C組：上野　 ）

使用教科書：（ 数研出版　科人704 『科学と人間生活』 ）

教科　理科　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　教養科学　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解できている。 また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につける。	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時数
1学期	第2編1章　生命現象の大もととなる遺伝子のはたらき 【知識及び技能】 ・DNAの構造や遺伝子とDNAとの関係について理解する。 ・タンパク質はアミノ酸がつながってできていることを理解する。 ・DNAの塩基配列からタンパク質がつくられる過程について考え、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・転写と翻訳について自分なりの表現で説明する。 ・タンパク質によってアミノ酸の並び方を予想できる。 ・ヒトの体内には多くの種類のタンパク質があり、それぞれ、さまざまなはたらきをもっていることを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・親の形や性質などの特徴が子や孫に現れることがあることを想起し、遺伝について問題を見いだそうとする。	【指導事項】 A　遺伝子とDNA ・DNAの構造 ・遺伝子とDNAの関係 ＜観察・実験2＞DNAの抽出 B　DNAの遺伝情報からタンパク質へ ・タンパク質をつくるアミノ酸 ・転写と翻訳 C　体内ではたらくタンパク質 ・さまざまなタンパク質 ・学習内容の整理 ・章末確認テスト 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・一人１台端末	【知識・技能】 ・安全面や衛生面に留意して実験を行い、抽出したDNAについて、スケッチや文章で適切に記録している。［行動観察・記録分析］ ・DNAの構造や遺伝子とDNAとの関係について理解している。［記述分析］ ・DNAの塩基配列を基にヒトの体内でタンパク質がつくられる過程について理解している。［発言分析］ 【思考・判断・表現】 ・学んだことを生かして、転写と翻訳を経て体内でタンパク質がつくられる過程について、自らの言葉で表現しようとしている。［発言分析・行動観察］ ・ヒトの体内には多くの種類のタンパク質があり、それぞれ、生命活動に重要な役割を果たしていることを理解している。［発言分析・記述分析］ 【学びに向かう力、人間性等】 ・視覚、血糖濃度の調節、免疫、遺伝子のはたらきについて、人間生活と関連付けて考えようとしている。［発言分析・記述分析］	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
	材料とその利用 【知識及び技能】 ・予防接種の意味を考え、予防接種で感染症を予防する仕組みについて理解する。 ・免疫とリンパ球のはたらきについて理解する。 ・免疫反応によってアレルギーが引き起こされることがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・抗原抗体反応の仕組みと特徴について説明できる。 ・免疫記憶、一次応答と二次応答の血液中の抗体濃度の変化のデータを基に、免疫記憶の利点について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・うがいや手洗いの重要性について考え、病原体から体を守るための仕組みについて問題を見いだす。	【指導事項】 A　感染症から体を守るしくみ ・免疫を支えるリンパ球 ・B細胞としてはたらく抗体 ・抗原抗体反応の特徴 ・免疫記憶 ＜実習2＞免疫記憶の利点を考えよう B　免疫のしくみと日常生活 ・予防接種で感染症予防のしくみ ・免疫反応で起こるアレルギー 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・一人１台端末	【知識・技能】 ・免疫の仕組みとしての抗原抗体反応や免疫記憶、それらを利用した治療法について理解している。［発言分析・記述分析］ 【思考・判断・表現】 ・一次応答と二次応答の血液中の抗体濃度の変化のグラフを読み取り、科学的に考察して、免疫記憶の利点を見いだし、表現している。［発言分析・記述分析］ ・はしかの予防接種の効果について、データを基に科学的に考察して見いだし、表現している。［発言分析・記述分析］ 【学びに向かう力、人間性等】 ・予防接種で感染症を予防する仕組みや免疫反応によるアレルギーについて理主体的に調べようとしている。［発言分析・記述分析］	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1

	微生物とその利用 【知識及び技能】 ・私たちの身のまわりには無数の微生物が存在することを実験を通して理解できている。 ・微生物には特徴の異なるさまざまな生物が含まれることを理解できている。 ・目に見えない微生物の存在を認識するに至った科学史を理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・発酵食品の生産には微生物が利用されることを、食品中の微生物の観察を通して考えさせる。 ・乳酸発酵とアルコール発酵が起こる際の反応を理解できているとともに、それぞれを利用してつくられる発酵食品について学習させる。 ・ワクチンや抗生物質などがどのような物質であるのかを理解できているとともに、それらの医薬品の生産に微生物が利用されていることを学習させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・分解者としての微生物のはたらきを理解できている。 ・炭素や窒素の循環の概要とそれに関わる微生物の役割を理解できている。 ・微生物による分解によって自然浄化が行われていることや、微生物の分解能力を利用した浄化が試されていることを学習させる。	【指導事項】 A　身のまわりの微生物 ・微生物とその発見の歴史 ・発酵食品への微生物の利用 ・乳酸発酵とアルコール発酵 B　医薬品への微生物の利用 ・生態系における微生物 ・環境の浄化と微生物 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・一人１台端末	【知識・技能】 ・微生物の生息場所や種類について理解できている。 ・微生物に関わる一連の科学史を理解できている。 ・発酵および発酵食品について理解できている。 ・乳酸発酵およびアルコール発酵について理解できている。 ・ワクチンや抗生物質などの医薬品の製造に微生物が関わっていることを理解できている。 ・炭素循環と窒素循環に微生物が関わっていることを理解できている。 ・汚水や環境の浄化に微生物が利用されていることを理解できている。 【思考・判断・表現】 ・微生物を培養する実験から、微生物が生息する場所について考察できる。 ・微生物の科学史についての学習を通して、目に見えない微生物を調べる方法について考察できる。 ・発酵食品に含まれる微生物の観察を通して、発酵食品と微生物との関わりについて考察できる。 ・アルコール発酵の実験を通して、アルコール発酵の反応について説明できる。 ・土壌中の微生物を確認する実験を通して、生態系における微生物の役割を説明できる。 ・活性汚泥の観察を通して、下水処理のしくみについて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・微生物が人間生活のさまざまな場面に役立っていることを意欲的に理解しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
2学期	熱の性質とその利用 【知識及び技能】 ・温度は何を表すものなのか理解できている。 ・熱容量と比熱について理解できている。 ・電力量と電力の定義について学習させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物体をつくる粒子が熱運動をしていることを、実験を通して理解できている。・熱伝導、対流、熱放射では、それぞれどのように熱が伝わるのか理解できている。 ・物質の三態、融解熱・蒸発熱について、物質をつくる粒子に着目して理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・エネルギーに関心を持ち、さまざまな種類に分類し考えさせる。 ・可逆変化と不可逆変化は、それぞれどのような変化なのか考えさせる。 ・どのような方法で電力を生み出しているか考えさせる。	【指導事項】 A　温度と熱運動 ・熱容量・比熱 ・熱の伝わり方 B　仕事や電流と熱の発生エネルギー ・移り変わり ・熱エネルギーの利用 ・エネルギー資源の利用 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・一人１台端末	【知識・技能】 ・セルシウス温度と絶対温度について理解できている。 ・熱平衡とはどのような状態か理解できている。 ・熱量の保存について実験を通して、理解できている。 【思考・判断・表現】 ・エネルギーは相互に変換されることを実験を通して考えている。 ・仕事による熱の発生について、実験を通して考えている。 ・ジュールの実験にも触れ、仕事と熱量が比例関係にあることを説明できる。 ・電流の仕事により熱が発生することと、その発熱量はジュールの法則に従うことを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・熱機関について、実験を通して主体的に学び、得た熱量のすべてを仕事に変えることはできないことを説明しようとしている。。 ・複合サイクル方式やコージェネレーションシステムなど、エネルギーを効率的に利用する技術があることを深く調べ、まとめようとしている。	○	○	○	12
	自然景観と自然災害 【知識及び技能】 ・地震発生のしくみを理解する。 ・火山噴火のしくみについて理解する。 ・マグニチュードと震度の違いを理解する。 ・風化、侵食、運搬の3作用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・マグマの性質と溶岩の噴出量によって、火山の大きさや形が変化することを学習させる。 ・火山活動によって引き起こされる災害について学習させる。 ・ハザードマップを作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・風化・浸食・運搬の作用によって、山地、河川ぞい、平野ではそれぞれ特徴的な地形が形成されることを理解しようとする。 ・土砂災害を引き起こす現象の種類と危険性の高い地形との関係について理解しようとする。	【指導事項】 A　日本列島とプレート ・地震のしくみと地震活動 ・地震による災害 ・マグマがつくる火山と景観 B　火山がもたらす恵みと災害 ・水のはたらきと自然景観 ・土砂災害と洪水 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・一人１台端末	【知識・技能】 ・地震発生のしくみを理解できている。 ・火山噴火のしくみについて理解できている。 ・マグニチュードと震度の違いを理解できている。 ・風化、侵食、運搬の３作用を理解できている。 【思考・判断・表現】 ・日本列島がプレート境界に位置することから、プレート境界にそって多くの地震が発生することを説明できる。 ・プレートの運動によって高くなった山は、流れる水のはたらきのよって低くなることを理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地震によって発生する災害やその危険性について、意欲的に考えようとしている。 ・火山は災害を引き起こすだけではなく、温泉や鉱物資源など私たちの生活に恵みをもたらしていることを理解しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
3学期	課題研究 【知識及び技能】 自然や生活の中から疑問を発見させ、そのテーマについて調べていく方法を学ばせる。 【思考力、判断力、表現力等】 調べたことをまとめ、発表する技術と方法を学ばせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えを相手に正しく効果的に伝えることの大切さを考えさせる。	【指導事項】 各自、時事的な科学トピックを課題研究し、クラス発表する。 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・一人１台端末	【知識・技能】 自然や生活の中から疑問を発見し、そのテーマについて調べ、深く理解する。 【思考・判断・表現】 知りえた情報をわかりやすく整理し、原稿にまとめることができる。 また、他者に簡潔に説明し、内容を効果的に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の課題に対し、関心を持って調べ、課題解決に向け意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
						合計	78

年間授業計画　新様式

足立　高等学校 令和７年度（４学年用） 教科　保健体育　科目 体育

教　科：　保健体育　　科　目：　体育　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年　A 組　・　C 組

教科担当者：（Ａ組：澤野、北川、益田）　（Ｃ組：澤野、北川、益田）

使用教科書：（ 大修館 現代高等保健体育 ）

教科　保健体育　の目標：

【知識及び技能】　各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　体育　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時数
1学期・2学期・3学期	球技(ゴール型・バスケットボール) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。②味方が操作しやすいパスを送ること。③守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること。⑥ボール保持者が進行できる空間を作りだすために、進行方向から離れること。⑦ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ること。⑧ゴール前の空いている場所をカバーすること。	【知識・技能】①バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③安定したボール操作や状況に応じたボール操作、チームメイトと連携して空間を作り出す動きや空間を埋める動きなどをゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	12
	実技テスト			○	○	○	2
1学期・2学期・3学期	球技(ネット型・バドミントン) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サービスでは、ポールをねらった場所に打つこと。②ポールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】①バドミントンの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	12
	実技テスト			○	○	○	2

1学期・2学期・3学期	球技(ネット型・卓球) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】①卓球の技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	12
	実技テスト			○	○	○	2
1学期・2学期・3学期	球技(ネット型・卓球) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】①卓球の技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	12
	実技テスト			○	○	○	2
1学期・2学期・3学期	球技(ゴール型・アルティメット) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】安定したディスク操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①エンドゾーン内にパスをコントロールすること。②味方が操作しやすいパスを送ること。③守備者とディスクの間に自分の体を入れてボールをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること。⑥ゴールとディスク保持者を結んだ直線上で守ること。	【知識・技能】①アルティメットの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③安定したディスク操作やエンドゾーン前での攻防を展開するためのディスク操作と空間に走りこむなどの動きをゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	9
	実技テスト			○	○	○	2

1学期・2学期・3学期	球技(ネット型・テニス) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】①テニスの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	9
	実技テスト			○	○	○	2
							合計 78

年間授業計画 新様式

足立　高等学校 令和７年度（４学年用） 教科　保健体育　科目 アクティブスポーツ

教　科： 保健体育　　科　目： アクティブスポーツ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 4 学年 A 組 ・ C 組

教科担当者：（Ａ組：澤野、北川）　（Ｃ組：澤野、北川）

使用教科書：（ 大修館 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育　の目標：

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 アクティブスポーツ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時数
1学期・2学期・3学期	球技(ゴール型・バスケットボール) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。②味方が操作しやすいパスを送ること。③守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること。⑥ボール保持者が進行できる空間を作りだすために、進行方向から離れること。⑦ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ること。⑧ゴール前の空いている場所をカバーすること。	【知識・技能】①バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③安定したボール操作や状況に応じたボール操作、チームメイトと連携して空間を作り出す動きや空間を埋める動きなどをゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームのおこない方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	25
	実技テスト			○	○	○	2
1学期・2学期・3学期	球技(ネット型・バドミントン) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】①バドミントンの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームのおこない方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	31
	実技テスト			○	○	○	2

1学期・2学期・3学期	球技(ネット型・卓球) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】①卓球の技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームのおこない方を工夫することができた。 ①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	16
	実技テスト			○	○	○	2
							合計 78

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和７年度（４学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教 科： 芸術　　科 目： 音楽Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 4 学年 A 組～ C 組

教科担当者：（ A組：菅原 ）（ C組：菅原 ）

使用教科書：（ ON!（音楽之友社）　　）

教科 芸術 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 芸術に関する各項目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現をしたり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに感性を高め心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現するための技能として、まず楽譜を読む力を養い、その知識を具体的に表現できる力を身につける。	より良い表現・自分がやりたい表現をめざして試行錯誤する中で他人の表現を鑑賞したり修正をしたりしながら自分の表現を完成させていく。	今までの自分の愛好する音楽だけではなく、自分の中の引き出しを増やし、いろいろな種類の音楽に興味を持てるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	学	配当時数
1学期	A 歌唱 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱・歌詞の意味に注目する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むことができる。	・斉唱 花は咲く 少年時代 等 ・一人一人の距離を取りながら自信をもってはっきりと声を出す。	○			○	A 歌唱 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て歌っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱・歌詞の意味に注目しながら歌唱しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	8
	B 器楽 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て弾く 【思考力、判断力、表現力等】 強弱・指の使い方に気をつける 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメイトの表現を鑑賞する	・キーボードの演奏 ・教材 やさしさにつつまれたなら 他 ・音符を読んでメロディーを演奏する。 ・コードやベースと合わせる。		○		○	B 器楽 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て弾いているか。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱・指の使い方を工夫しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメイトの表現をまじめに鑑賞できるか。	○	○	○	11
	C 楽典 【知識及び技能】 コード理論を理解し、実践する。 【思考力、判断力、表現力等】 譜面を読み解く力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むことができる。	・読譜指導 音符の高さ・長さを理解する コードとベースを理解し、リズムを創作する ・教材 教科書の楽典ページ プリント DVD教材			○		C 楽典 【知識及び技能】 音符の長さや高さを理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 譜面を読み解く力がついたか 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組んでいるか	○	○	○	7
	好きな歌を歌おう	好きな歌を選んで歌う。				○	音やリズムを自由に楽しむ。				1
2学期	A 歌唱 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱・歌詞の意味に注目する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むことができる。	・合唱 Tonight A Whole New World 等 ・一人一人の距離を取りながら自信をもってはっきりと声を出す。他のパートの声を聴きながら歌う。	○			○	A 歌唱 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て歌っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱・歌詞の意味に注目しながら歌唱しているか。また、他パートの声を聞いているか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	15
	B 器楽 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て弾く。 【思考力、判断力、表現力等】 指の使い方に気をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメイトの表現を鑑賞する。	・ギターの演奏 ・教材 少年時代 前前前世 他 ・音符を読んでメロディーを演奏する。 コード表を読み、伴奏ができるようにする。 自分なりのアレンジを加える。		○	○	○	B 器楽 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て弾いているか。 【思考力、判断力、表現力等】 指の使い方を工夫しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメイトの表現をまじめに鑑賞できるか。	○	○	○	18
3学期	A 歌唱 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱・歌詞の意味に注目する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むことができる。	・斉唱 Caro mi obem O Sole mio 等 ・一人一人の距離を取りながら自信をもってはっきりと声を出す。	○			○	A 歌唱 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て歌っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱・歌詞の意味に注目しながら歌唱しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	7
	B 器楽 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見る。 【思考力、判断力、表現力等】 人の音を聞きながら自分のタイミングを合わせる。 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメイトの表現を鑑賞する。	・トーンチャイムの演奏 ・教材 海の見える街 他 ・音符を読んで自分の分担音を演奏する。 ・伴奏と合わせる。		○		○	B 器楽 【知識及び技能】 音符を読みながら楽譜を見て弾いているか。 【思考力、判断力、表現力等】 人の音とタイミングを合わせられるか。 【学びに向かう力、人間性等】 クラスメイトの表現をまじめに鑑賞できるか。	○	○	○	11 合計 78

年間授業計画 新様式

足立　高等学校 令和７年度（４学年用） 教科　芸術　科目　美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　４学年　A　組～　C　組

教科担当者：（Ａ組：大塩　）　（Ｃ組：大塩　）

使用教科書：（ 日本文教出版　高校美術 ）

教科　芸術　の目標：

【知識及び技能】　芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	A 題材　観察力を身につけよう （色鉛筆による草花の写生） 【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求しあらわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近なものを見つめ、主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組もうとしている。	・指導事項 〇遠近法の原理の学習 〇色鉛筆によるデッサン（質感・立体感・形） ・教材 〇色鉛筆、消しゴム、画用紙、参考作品 ・書画カメラ	○				【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求しあらわすことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近なものを見つめ、主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え表現の構想を練ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組むことができている。	○	○	○	14
	B 題材　色や形で感情を表現しよう （原始絵画の技法） 【知識及び技能】 ・原始絵画についての各技法についての知識・理解を深める。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や形態などの表現を工夫し主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の思いや感情から主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に、自分の思いや感情などをもとにした表現の創作活動に取り組もうとしている。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化しようとしている。	・指導事項 〇原始絵画の各技法の演習（吹付け、ステンシル、線刻、型押し、筆描き、タンポ描き） ・教材 〇鉛筆、消しゴム、画用紙、参考作品、アクリルガッシュ、クレヨン、のり等描画用具、土、木炭 ・書画カメラ		○		○	【知識及び技能】 ・原始絵画についての各技法についての知識・理解を深めることができている。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や形態などの表現を工夫し主題を追求して創造的にあらわすことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の思いや感情から主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に、自分の思いや感情などをもとにした表現の創作活動に取り組んでいる。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化することができている。	○	○	○	13

2学期	C 題材　自刻像を作ろう （塑像） 【知識及び技能】 ・塑像及び自刻像について、その成り立ちや歴史を知り、その表現を理解する。 ・意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、主題を追求して創造的にあらわす。 【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、単純化や省略、強調、材料の質感や量感を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。	・指導事項 ○自刻像の制作 ○自分の顔及び頭部のスケッチ ・教材 ○鉛筆、消しゴム、参考作品、鏡、粘土、芯材など ・書画カメラ	○				【知識及び技能】 ・塑像及び自刻像について、その成り立ちや歴史を知り、その表現を理解している。 ・意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、主題を追求して創造的にあらわすことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、単純化や省略、強調、材料の質感や量感を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組んでいる。	○	○	○	19
	D 題材　LINEスタンプをつくろう （デザイン） 【知識及び技能】 ・LINEスタンプについて成り立ちを知り、その効果を理解する。 ・形や色などが感情にもたらす効果や、全体のイメージや造形的な特徴・作風などでデザインを捉えることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、単純化や省略、強調などの効果やわかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に誰に何を伝えるかを考え、わかりやすく効果的なデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化しようとしている。	・指導事項 ○LINEスタンプのデザイン ・教材 ○鉛筆、消しゴム、参考作品、画用紙、ペン、色鉛筆など ・書画カメラ		○		○	【知識及び技能】 ・LINEスタンプについて成り立ちを知り、その効果を理解している。 ・形や色などが感情にもたらす効果や、全体のイメージや造形的な特徴・作風などでデザインを捉えることを理解することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、単純化や省略、強調などの効果やわかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に誰に何を伝えるかを考え、わかりやすく効果的なデザインを工夫する表現の創造活動に取り組むことができている。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化することができている。	○	○	○	14
3学期	E 題材　有名な作品を深く理解しよう （模写）（鑑賞） 【知識及び技能】 ・グリッド転写の技法を理解し、主題を追求しあらわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・模写の制作から、作者の表現意図や工夫を感じ取り、作品制作に生かしている。 ・作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、作者の生涯・心情や創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に作品を見つめ、感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、その生涯や心情と作品との関係などについて考える鑑賞活動に取り組む。	・指導事項 ○模写の制作 ○グリッド転写 ○鑑賞 ○アクリルガッシュの使い方 ・教材 ○鉛筆、消しゴム、参考作品、アクリルガッシュ、教科書など ・書画カメラ	○			○	【知識及び技能】 ・グリッド転写の技法を理解し、主題を追求しあらわすことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・模写の制作から、作者の表現意図や工夫を感じ取り、作品制作に生かすことができている。 ・作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、作者の生涯・心情や創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に作品を見つめ、感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組むことができている。 ・主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、その生涯や心情と作品との関係などについて考える鑑賞活動に取り組むことができている。	○	○	○	18
											合計 78

年間授業計画 新様式例

足立　高等学校 令和7年度（４学年用） 教科　　芸術　　科目　　書道Ⅰ

教　科：　芸術（書道）　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　４学年　Ａ 組～　Ｃ 組

教科担当者：（Ａ組：入山　　）（Ｃ組：入山　　）

使用教科書：（ 光村図書　書Ⅰ　　）

教科　　書道Ⅰ　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わったり捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	学	配当時数
1学期	A 書道の理解 【知識及び技能】 ・書道の分野 ・小・中学校の国語科書写 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化 ・漢字の書体の変遷 ・各書体に特有の字形や線質の特徴 上記を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○指導事項 ・小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認 ・臨書・鑑賞・創作の理解 ・用具用材の理解 ・それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨 毛氈		○		○	【知識及び技能】 ・書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解できている。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組むことができている。 ・主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組むことができている。	○		○	6
	B 唐代の楷書とその周辺 【知識及び技能】 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆 ・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について 上記を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○指導事項 書風の違いを理解させる。 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 方勢と円勢の違いについて ・牛橛造像記 ・鄭羲下碑 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨 毛氈、参考作品		○		○	【知識及び技能】 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を習得できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養える。	○	○	○	10
	C 楷書の倣書 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴 ・表現効果とその関わり ・書体や書風 ・用筆・運筆について 上記を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、古典から感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。	○指導事項 楷書を基に創作する 字書の扱い方 草稿の練り方 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨 毛氈、字書		○		○	【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。	○	○	○	11

2学期	D 【行書】【草書】【隷書】【篆書】の理解 【知識及び技能】 ・行書・草書・隷書・篆書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。 ・行書・草書・隷書・篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・行書・草書・隷書・篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○指導事項 書体の違いを理解させる。 【行書】 ・蘭亭序 ・風信帖 ・三筆・三跡について 【草書】 ・真草千字文 【隷書】 ・曹全碑 【篆書】 ・秦山刻石 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨 毛氈、参考作品		○		○	【知識及び技能】 ・行書・草書・隷書・篆書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。 ・行書・草書・隷書・篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を習得できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・行書・草書・隷書・篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養える。	○	○	○	33
3学期	E 漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○指導事項 ・参考作品の臨書 ・創作 ○教材 小筆、硯、文鎮、紙、墨 毛氈、参考作品	○			○	【知識及び技能】 ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を習得できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫できた。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養うことができている。	○	○	○	7
	F 仮名の書 【知識及び技能】 ・仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質、字形を生かした表現をするための技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・仮名の古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○指導事項 ・仮名の成立や種類 ・筆使い、平仮名、変体仮名、連綿について理解させる 書風の違いを理解させる。 ・蓬莱切 ・高野切第三種 ・三色紙 構成方法の理解 ・散らし書き ・行書き ○教材 小筆、硯、文鎮、紙、墨 毛氈、参考作品			○	○	【知識及び技能】 ・仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質、字形を生かした表現をするための技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・仮名の古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	G 創作 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○指導事項 創作 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨 毛氈、参考作品、字書		○	○	○	【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4 合計 78

年間授業計画

高等学校 令和７年度（４学年用）教科　外国語（英語）　科目　英語コミュニケーションⅡ

教　科：　外国語（英語）　　科　目：　英語コミュニケーションⅡ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年（普通科・商業科）

教科担当者：　佐藤α　伊藤β　新野商業

使用教科書：（ 三省堂　Vista English Communication Ⅱ　　）

教科　外国語（英語）　　の目標：

【知識及び技能】　外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目　英語コミュニケーションⅡ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「話す（やりとり）」「話す（発表）」「書く」の３領域を中心とした発信能力の育成を強化し、本校の生徒の実態に即したプレゼンテーション等を通して、英文に親しみながら、論理の構成や展開を工夫し、簡単な英語で身近な友人やALTとコミュニケーション活動ができる力を養う。	簡単な英語を用いて、身近な友達やALTと、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	様々な国と、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話〔や〕	話〔発〕	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・Lesson 6 Smart Agriculture 【SECTION　①】 日本の農業従事者の数が減少している理由と、農作物を支援するために導入されている先端技術について知る。 【知識及び技能】 現在完了形の受動態の用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了形や受動態の文を用いて、身近なことについて英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 スマート農業の概念を学び、これまでの農業従事者の苦労と農業の未来に思いをはせる。	指導事項 ○現在完了形の受動態の用法を理解させる。 Advanced technologies have been introduced. ○受動態の用法を復習させる。 This development is called "smart agriculture". ○新出語句の読み方と意味を定着させる。 agriculture / depend / mostly skilled / advanced / agricultural / assist / movement / reduce / physical / reduce / physical / easily	○	○	○		○	【知識及び技能】 現在完了形の受動態、受動態の用法が理解できる。 【思考力・判断力・表現力等】 現在完了形の受動態、受動態を用いて身近なことなどを英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の農業の問題点を身近なこととして学ぼうとする。ワークシートに積極的に取り組む。	○	○	○	7
	・Lesson 7 Smart Agriculture 【SECTION　②③】 現在のスマート農業の具体例として、AIが収穫等の重労働に活用されてきていることを知る。 【知識及び技能】 助動詞＋受け身の用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞＋受け身の文を用いて、身近なことについて英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 今後のAI技術の発展により、24時間就労も可能になりつつあることを読み取り、写真を見ながら英語でスマート農業の現状を説明できる。	指導事項 ○助動詞＋受け身 (will be 過去分詞など) の用法を理解させる。 will be / can be / must be may be ○アクセントの位置に注意して発音させる。 desert, object（名詞・動詞）/ tomato / technology automatically / agriculture ○新出単語の読み方と意味を定着させる。 sensor / capture / task / productivity / increase some...others- / instead of.../ as... / be able to 24 hours a day	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 助動詞＋受け身の用法が理解できる。 【思考力・判断力・表現力等】 助動詞＋受け身の用法を用いて身近なことなどを英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 現在、スマート農業の一環として、AI技術がどのように利用されているか、積極的に読み取る。ワークシートに積極的に取り組む。	○	○	○	11
	定期考査（中間）		○		○	○	○		○	○	○	1
	・Lesson 8 A Martial Arts on Tatami 【SECTION　①②③】 「畳の上の格闘技」ともいわれる競技かるたの魅力を知る。 【知識及び技能】 関係代名詞の非制限用法、whatの用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 関係代名詞の非制限用法、whatの用法を用いて、身近なことについて英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 かるたに載っている和歌にも触れ、普段なかなか接することのできない日本の伝統文化についても学ぶ。	指導事項 ○関係代名詞の非制限用法、whatの用法を理解させる。 This is a yomifuda, which has a waka poem. Let me introduce Mr.Kato, who has been abroad for a long time. What is important to me is my family. ○新出単語の読み方と意味を定着させる。 competitive / martial art / mental / speed / reciter / grab / corresponding / compete fiercely / as well as the first half / so-that...	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 関係代名詞の非制限用法、whatの用法が理解できたか。 【思考力・判断力・表現力等】 関係代名詞の非制限用法、whatを用いて、身近なことなどを英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 競技かるたは優雅なだけでなく、厳しい訓練も必要とされることを主体的に学ぶ。ワークシートに積極的に取り組む。	○	○	○	6
	定期考査（期末）		○		○	○	○	実技試験含む（インタビュー、発表）	○	○	○	1
	１学期のまとめ											1
2学期	・Lesson 9 Biologging 【SECTION　①②③】 バイオロギングの研究の実際や、研究から明らかになったことを通して、動物や自然環境について学ぶ。 【知識及び技能】 分詞構文、強調構文の用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞構文、強調構文を用いて、身近なことについて英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 この分野においては日本が世界をリードしていることを本文から読み取り、普段あまる考えることのない動物の生態に興味を向ける。	・指導事項 ○原因、時、理由、付帯状況等を表す分詞構文の用法を理解させる。 Carring the logger, the animals collect data. Smiling at me, a girl gave me a flower. ○ 強調構文の用法を理解させ、定着させる。 It was this project that revealed both things. ○新出単語の読み方と意味を定着させる。 logger / natual / biologging / lead / realize / behavior aquatic / dive / data logger / be attached to- / once	○	○		○	○	【知識及び技能】 原因、時、理由、付帯状況等を表す分詞構文の用法が理解できる。 【思考力・判断力・表現力等】 原因、時、理由、付帯状況等を表す分詞構文を用いて身近なことなどを英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】生物の生態や環境を守るために様々な最新技術が駆使されていることを知る。ワークシートに積極的に取り組む。関係代名詞の非制限用法の用法が理解できる。	○	○	○	15
	定期考査（中間）		○	○	○	○	○		○	○	○	1
	ENJOY COMMUNICATION3 The Open Window イギリスの作家サキのブラックユーモアとウイットにあふれた代表作を読む。 【知識及び技能】 ３年間で習った語句を復習し、定着する。 【思考力、判断力、表現力等】 新出単語の意味を推測しながら本文のあらすじを捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 訪問先の屋敷で聞いた奇妙な話から展開するストーリーの展開を想像しながら、英語の物語に親しむ。	・指導事項 物語内に登場する以下の熟語や文法事項を復習する。 ○ as far as- ○ take care of- ○ get worse ○be about to- ○hardly anyone... ○have-to do... ○代名詞 ・新出単語の読み方と意味を定着させる。 confident / calm / hide / moment / silence / hardly / admit / whether / widow / tragedy / peaceful / stuck / shiver / tease / apologize /	○	○			○	【知識及び技能】 物語のあらすじを大まかに英語でとらえることができる。 【思考・判断・表現】 本文に登場する文法事項や熟語を用いて、ストーリーの中身を英語で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 普段読まない英文学に触れ、サキ独特の世界観や物語展開、ブラックユーモアを読み取り、親しもうとしている。また、基本的な文法事項を多角的に学ぶことができる。	○	○	○	15
	定期考査（期末）		○	○	○	○	○		○	○	○	1
	２学期のまとめ											1

3学期	単語・文法のまとめ 【知識及び技能】 　代名詞、基本文型、助動詞、完了形、関係詞等、文法事項を幅広く復習し、豊かな表現力を育成する。 【思考力、判断力、表現力等】 代名詞、基本文型、助動詞、完了形、関係詞等を用いて、身近なことについて英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 文法を主体的に学び、自分の考えを英語で表現し、友達と多言語でコミュニケーションする楽しさを知る。	・指導事項 ○代名詞、基本文型 ○助動詞、動名詞、不定詞 ○現在完了形、受動態 ○関係詞、分詞 ○比較、仮定法、知覚動詞、過去完了形、過去完了進行形	○	○	○		○	【知識及び技能】 　様々な単語や文法を多角的に用いて、文法の違いに注意しながら英文の構造を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な単語や文法を用いて、自分のことを英語で相手に豊かに伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な単語や英文の構造を理解し、多くの英語表現に親しむ。	○	○	○	17
	定期考査（学年末）		○	○			○		○	○	○	1
												合計 78

年間授業計画

高等学校 令和７年度（４学年用）教科　外国語（英語）　科目　英語コミュニケーション応用

教　科：　外国語（英語）　　科　目：　英語コミュニケーション応用　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年（普通科・商業科）

教科担当者：　佐藤

使用教科書：（ 三省堂　Vista English Communication Ⅱ　）

教科　外国語（英語）　の目標：

【知識及び技能】　外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目　英語コミュニケーション応用　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の基本的な語彙、表現、文法、言語の働きなどの多角的な理解を深め、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	友達やALTと、平易な英語を用いて、日常的な話題や社会的な話題について、身近な話題を適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。また、音読やリスニング活動を通して、楽しく英語の活動に取り組めるようにする。	国際社会に生きる自覚を持ち、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話（やり）	話（発）	書	評価規準	知	思	学	配当時数
1学期	Lesson10 Ethical Fashion 【Section①②③】 【知識及び技能】ファッションという身近なテーマをきっかけにSDGｓと関連付けて「エシカル」な選択をすることを学ぶ。 【表現力等】 形容詞の比較級、原級、最上級を用いた表現を用いて、身近な様子や状況を英語で表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に会話活動に参加し、他者とのやりとりを通じ、知識の習得・定着に努めている。	・指導事項 ○形容詞の原級、比較級、最上級 ○エシカル、SDGｓに関係する生産時の環境問題や産業に関わる人々の労働問題 ○教室内での英会話	○	○	○		○	【知識及び技能】 形容詞の原級、比較級、最上級について正しく用法を理解する。また、エシカルな事柄や現代の産業の問題点を整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 形容詞の原級、比較級、最上級を用いて、エシカルな事柄や問題点について自分の考えを英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に言語活動に参加し、他者とのやりとりを通じ、知識の習得・定着に努めている。	○	○	○	10
	定期考査（中間）		○	○			○		○	○	○	1
	・Lesson 6 Becoming the Best 【SECTION　①②③】 日本人選手が世界のトップ１０に入るのは極めて困難であると思われたプロスポーツ界で、活躍し、実績を積み重ねた錦織圭選手を取り上げる。大きなケガや海外での生活の中でいかにして困難を乗り越えたのか、その強さの秘密を英語を通して学ぶ。 【知識及び技能】 教科書の英文や過去問を読んで、内容を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 既習の文法事項を用いて、身近な事柄について自分自身の考えを英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に自分の考えを発信する。また周りの生徒は発表者の意見や考えを共有する。	○使役動詞(make)の用法を理解させる。 ○関係代名詞(what)の用法を理解させる。 ○疑問詞＋to不定詞の用法を理解させる。 ○会話を円滑にする接続詞を理解させる。 ○新出語句の読み方と意味を定着させる。 pro / hate / academy express / hate to lose at first make friends with… not only～but also...	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 使役動詞、関係代名詞what、疑問詞＋to不定詞、会話を円滑にする接続詞の正しい用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ストーリーテラーの思いを読み取り、前向きに生きる大切さについて自分の意見を持ち、自身の問題や身近なことと結びつけて、自分の考えを英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習活動に参加し、他者とのやりとりを通じ、知識の習得・定着に努めている。	○	○	○	15
	定期考査（期末）		○		○	○	○	実技試験（インタビュー、発表）	○	○	○	1
2学期	ENJOY READING! The Story of Oshin, A Japanese Cinderella 【知識及び技能】 「日本のシンデレラ、おしん」の物語を英語で読み、英語による新鮮な解釈を楽しむ。また、仮定法過去の用法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 仮定法過去の用法を用いて、身近な事柄を英語で相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 物語を通して、昔の日本に息づいていた美徳や考え方について考えさせる。グループ活動において他者の考えを受容する。	・指導事項 ○仮定法過去、否定疑問文、Whatで始まる感嘆文 ○日本事象を説明する英語 bow / fan / goddess Bentenなど ○教室内での英会話、発表 ○日本語と英語の表現の違い ○人をもてなすマナーの東西での違い	○	○		○	○	【知識及び技能】 過去完了形、否定疑問文、Whatで始まる感嘆文の用法を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 過去完了形、否定疑問文、Whatで始まる感嘆文を用いて、身近なことなどについて英語で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本独特のものを西洋の視点で置き換えたときの物語の面白さについて知る。グループ活動において他者の考えを受容することができる。	○	○	○	16
	定期考査（中間）		○	○			○		○	○	○	1
	Lesson 7 The Galapagos Islands 【SECTION　①②③】 世界自然遺産第１号に選ばれたガラパゴス諸島は赤道の直下にあり、様々な生物の固有種の宝庫として知られている。世界遺産登録後、世界中から大勢の観光客が島を訪れたことによりオーバーツーリズムと自然破壊が着実に進み、多くの種が絶滅の危機に瀕していることを知る。 【知識及び技能】 seem to…、現在完了進行形の用法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 seem to…、現在完了進行形用法を用いて、身近な事柄について自分自身の考えを英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現在起こっているオーバーツーリズムの問題について深く考える。	○seem to...の用法を復習し、定着させる。 ○珍しい固有種の名前を知る。 elephant tortoise / brown boobies / a frigate bird ○現在完了進行形の用法を理解させる。 ○新出単語の読み方と意味を定着させる。 Galapagos / Pacific Ocean / evolution / paradise / wildlife / reality / cause / visitor / settler / be made up of.../ living museum / be filled with.../ in reality	○	○			○	【知識及び技能】 seem to…、現在完了進行形用法を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 seem to…、現在完了進行形用法を用いながら、身近なことなどについて自分自身の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 オーバーツーリズムや自然破壊に関心を持ち、身近な事柄と結びつけながら環境問題を考えることができる。	○	○	○	15
	定期考査（期末）		○	○	○	○	○		○	○	○	1
3学期	単語・文法のまとめ 【知識及び技能】 4年間で学んだ単語のうち、基本的なものを復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 ベーシックな単語を使い、身近なことについて英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単語と文法を主体的に学び、自分の考えを英語で表現し、友達と多言語でコミュニケーションする楽しさを知る。	・指導事項 ○単語 ○代名詞、基本文型 ○助動詞、動名詞、不定詞 ○現在完了形、受動態 ○関係詞、分詞 ○比較、仮定法、知覚動詞、過去完了形、過去完了進行形	○	○	○		○	【知識及び技能】 基本的な単語や文法を用いて、多くの平易な英文を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な単語や文法を用いて、自分のことを英語で相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語を使ってお互いの気持ちを伝えあう楽しさを知る。また、外国人と積極的に英語でコミュニケーションすることができる。	○	○	○	16
	定期考査(学年末)		○	○			○		○	○	○	1
	4年間のまとめ		○	○	○	○	○		○	○	○	1
											合計	78

年間授業計画　新様式

高等学校 令和７年度（４学年用） 教科　情報　科目 情報演習

教　科：情報　　科　目：情報演習　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年　A　組

教科担当者：（Ａ組：長田）　（　組：　）　（　組：　）（　組：　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（　新編　情報Ⅰ（東京書籍）　）

教科　情報　　の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等を理解する。
情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付ける。

科目　情報演習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時数
1学期	情報で問題を解決する 【知識及び技能】 情報社会の発展の要因となる技術の進歩とそれに伴う生活の変化を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 よりよい情報社会に向かうために必要なこと、物を考え、主体的に情報社会に参画する態度を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の流れを把握し、自ら問題を発見する力を育む。	・指導事項「教科書第1章　情報で問題を解決する」 ・教材「教科書、端末、Office365」 ・一人１台端末の活用方法 「課題提出、及び授業資料の参照」	【知識・技能】 情報とメディアの特性を理解する。 Society5.0とその出現の背景を理解する。 情報モラルを身に付ける。 知的財産権等の権利を理解する。 【思考・判断・表現】 問題解決の方法を知り、実践できる。 情報社会に望ましいルールとマナーを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会に興味を持ち、自ら知識を取り入れようとしている。	○	○	○	12
	コンピュータに触れる・慣れる 【知識及び技能】 コンピュータとは何か、どのような仕組みかを理解し、操作できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 よりよい情報社会に向かうために必要なこと、物を考え、主体的に情報社会に参画する態度を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の流れを把握し、自ら問題を発見する力を育む。	・指導事項「教科書第1章　情報で問題を解決する」 ・教材「教科書、端末、Office365」 ・一人１台端末の活用方法 「課題提出、及び授業資料の参照」	【知識・技能】 コンピュータの部位や機能について理解している。 コンピュータの操作を行うことができる。 【思考・判断・表現】 コンピュータを用いて自身の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら問題点を発見できる。 問題解決のための行動を自発的に起こせる。 作成・実施後の振り返りを実施できる。	○	○	○	14
	１学期のまとめ			○	○	○	1
2学期	コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 情報の科学的な見方・考え方を働かせ、メディアの特性やコミュニケーション手段の特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて受け手にわかりやすく伝える。そのために情報デザインの考えかたや方法を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用して、効果的なコミュニケーションを行う態度を身につける。	・指導事項「教科書第3章　コンピュータを活用する」 ・教材「教科書、端末、Office365」 ・一人１台端末の活用方法 「課題提出、及び授業資料の参照」	【知識・技能】 メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解できている。 【思考・判断・表現】 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や手法を理解し表現する技能を身についている。 【学びに向かう力、人間性等】 情報デザインの違いによる社会に与える影響の違いを理解し、責任ある情報発信を行う態度が身についている。	○	○	○	32
	２学期のまとめ			○	○	○	1
3学期	コンピュータを活用する 【知識及び技能】 プログラムの動作の仕組みとアルゴリズムによる表現ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 プログラムの基本構造を把握し、実際にプログラムを作成できる。 【学びに向かう力、人間性等】 デバッグなどを通して自ら問題を見つけ、解決する。	・指導事項「教科書第4章　データを活用する」 ・教材「教科書、端末、Office365」 ・一人１台端末の活用方法 「課題提出、及び授業資料の参照」	【知識・技能】 アルゴリズムの基本的な考え方や、シミュレーションに用いられるモデルの種類と特徴を理解し、それらを活用するための表現手段（プログラミング等）についての技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 目的に応じた問題をプログラミングやシミュレーションによって分析・表現し、過程や結果を評価・改善する能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 社会や自然などにおける事象をモデル化・シミュレーションを行い、情報社会に主体的に参画しようとする態度を身につけている。	○	○	○	17
	３学期のまとめ			○	○	○	1 合計 78